Ozaki Exchange Program 2027 募集案内

日米科学技術協力事業（高エネルギー物理学）では、素核分野の研究とその日米間の協力の推進に多大な貢献をされた故・尾崎 敏 博士の功績を称え、同事業下での取組として、大学院生を対象とした若手人材交流プログラム"Ozaki Exchange Program"を 2018 年から実施しています。

ついては、以下のとおり本プログラムへの参加者を募集いたしますので、興味のある学生の方は奮ってご応募ください。

１．趣旨

Ozaki Exchange Program は、日本から米国エネルギー省（DOE）傘下の研究所へ、米国から KEK や KEK と共同研究する日本の大学機関へ、大学院生を交換派遣することで、日米間の人事交流を深めるとともに、派遣した日米の大学院生の国際的素養を高めることを目的としています。

本プログラムには、以下の２つの募集区分があります。

A. サマースチューデント型

DOE 傘下の研究所が推進する研究プログラムに短期間参画し、大学院で行う研究とは異なる研究テーマや研究環境を経験することを目的とします。

B. 研究型

DOE 傘下の研究所のユニークな施設や装置などを利用し、申請者独自の研究課題を提案・実施するものです。大学院で行う研究に関連する課題も対象となりますが、現在の研究の単なる継続ではなく、本プログラムへの参加によって新たな視点、手法、研究対象などを取り入れ、研究を明確に発展・拡張する課題とします。

２．募集種別

A. サマースチューデント型

ANL、BNL、FNAL、JLab、LBNL、SLAC のいずれかで実施されるプログラムを第三希望まで選択。各研究所のプログラムの詳細については、申請書を確認してください。

派遣期間：結果通知後から 2028 年 3 月 10 日までの間で 10 週間以下。
ただし、6 週間以上の派遣を推奨します。

B. 研究型

申請者自身が研究課題を提案し、事前に受入れの承諾を得た DOE 傘下の研究所へ派遣されます。

派遣期間：結果通知後から 2028 年 3 月 10 日までの期間内で 9 ヶ月以下。

３．応募資格

以下の要件を満たす者が応募できます。

- 2027 年 4 月時点において日本国内の大学院に在学していること
- 物理学関係の修士または博士課程に在籍していること
- 応募時点では、大学院への進学予定者でも可
- 国籍は問わない

４．採択後の要件等

採択された者は、派遣開始までに以下の要件を満たすこととします。

- 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成 26 年 8 月 26 日文部科学大臣決定）を踏まえ所属機関が実施する研究倫理教育を派遣開始までに受講すること。
- 所属機関が、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく取組状況に係るチェックリストを府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を通じて提出していること。

５．対象となる研究分野

以下の分野およびその周辺分野を対象とします。

- 高エネルギー物理学
- 加速器科学
- ビーム科学
- その他、上記に関連する分野

６．派遣先

米国エネルギー省（DOE）傘下の研究所が派遣先となります。

主な派遣先は以下のとおりです。

- アルゴンヌ国立研究所（ANL）
- ブルックヘブン国立研究所（BNL）
- フェルミ国立加速器研究所（FNAL）
- トーマス・ジェファーソン国立加速器研究所（JLab）
- ローレンス・バークレー国立研究所（LBNL）
- SLAC 国立加速器研究所（SLAC）

なお、B.研究型については、日米科学協力事業（高エネルギー物理学）を受け入れているその他の DOE 研究所についても、希望に応じて検討します。

７．派遣人数

A 及び B を合わせて若干名

８．支援経費

派遣に必要な往復旅費および滞在費を、高エネルギー加速器研究機構（KEK）の旅費規程に基づき支給します。

＜往復旅費＞

- 日本国内移動費：自宅から最寄り空港までの公共交通機関での移動費
- 航空券代：実費（予算に応じ上限額を設ける可能性あり）
- 渡航先での交通費：滞在日数の日当の総額を超える場合、別途支給

＜滞在費＞

日当：3,000 円/日

宿泊料：20,000 円/泊

※　国内移動中は、日当：1,000 円/日、宿泊費：12,000 円/泊

※　滞在期間に応じて、支給額は以下のとおり変動します。

期間	滞在費
1 日目～30 日目	10 割
31 日目～60 日目	9 割
61 日目～180 日目	8 割
181 日目以降	6 割

９．提出書類

提出書類は全て英語で作成してください。

A. サマースチューデント型

- 応募フォーム（指定様式）
- 成績証明書
- 大学院在学を証明できる書類
  2027 年 4 月時点で大学院に在学していることを証明できるもの
  応募時点で入学前の場合は、大学院の合格通知の写し等
- 指導教員の推薦状
  任意様式
  3 ページ以内

B. 研究型

- 研究計画書
  任意様式
  参考文献リストを除き 5 ページ以内
  応募時点で学部学生の場合は、進学先大学院の指導教員と相談のうえ作成してください
- 履歴書（CV）
- 成績証明書
- 大学院在学を証明できる書類
  2027 年 4 月時点で大学院に在学していることを証明できるもの
  応募時点で入学前の場合は、大学院の合格通知の写し等
- 指導教員の推薦状
  任意様式
  3 ページ以内
  必要経費及び期待される能力について記載してください
- 受入担当者の推薦状
  任意様式。3 ページ以内

１０．提出方法

以下の提出先へ、E メールで提出してください。

≪提出先≫

高エネルギー加速器研究機構 国際企画課 国際企画第一係
TEL：029-864-5132
Email：koryu1@mail.kek.jp

１１．提出期限

2026 年（令和 8 年）12 月 18 日（金）（日本時間）

１２．選考方法

選考は、以下の流れで実施します。

（1）日本側審査

書類審査および面接審査により実施します。

＜面接＞

2027 年 1 月 12 日（火）にオンラインにて実施する予定です。面接では、これまでの経歴及び申請内容を含め発表していただきます。発表資料は、2027 年 1 月 5 日（火）正午までに「１０.提出方法」に記載の提出先へ送付してください。

（2）②日米合同審査

日本側での審査終了後、日米合同で審査を行います。

１３．結果通知

日米合同委員会開催後、2027 年 5 月上旬を目途に通知する予定です。

１４．成果報告書

参加者は、本プログラムによる支援期間終了後１ヶ月以内に、研究活動及びその成果を記載した報告書を提出してください。報告書は、和文及び英文で作成してください。和文については、KEK 指定の様式を使用してください。

１５．問合せ先

DOE 傘下の各研究所における受入について

- ANL: John Power <JP@anl.gov>
- BNL: Hong Ma <hma@bnl.gov>
- FNAL: Fumio Furuta <ffuruta@fnal.gov>
- JLab: Joe Grames <grames@jlab.org>
- LBNL: Tony Spadafora <alspadafora@lbl.gov>
- SLAC: John Seeman <seeman@slac.stanford.edu>

提出書類について

高エネルギー加速器研究機構 国際企画課 国際企画第一係

TEL：029-864-5132

Email：koryu1@mail.kek.jp